| 学校番号 | ３２２ |
|---|---|

令和５年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 現代文Ｂ | 単位数 | ３ | 年次 | ３年次（体育科） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「現代文Ｂ」　（教育出版） | | | | | | |
| 副教材等 | ・キーワード漢字 2700 入試漢字と現代文重要語（浜島書店）<br>・クリアカラー国語便覧（数研出版）、「新演習現代文アチーブ２」（桐原書店） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・３年間の国語の授業を通じて、皆さんが社会人として通用する「話す力・聞く力」や「書く力」、また「読む力」を習得することを学習の目標としています。３年の「現代文」は２年で学習した「現代文」の内容を受け、引き続き、高等学校国語の発展的な事柄を学ぶ科目です。内容的には、明治以降の「随想」や「小説」、「評論」などを通じて、「読む力」を付けるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深める学習を行います。
・予習として本文をしっかり読み、わからない単語は辞書を使って意味を調べておきましょう。
・定期考査は日ごろからの学習を基本とし、こつこつと取り組んでください。

2　学習の到達目標

・近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することにより、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育む。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 | 目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自身の考えを深め、発展させている。 | 必要な情報を用い、目的や相手、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自身の考えを深め、発展させている。 | 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自身の考えを深め，発展させている。 | 言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | ・行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度）<br>・記述の分析（ノート，ワークシート） | ・行動の観察（学習活動への参加姿勢や態度）<br>・記述の分析（ノート，ワークシート） | ・記述の確認（ノート，ワークシート，レポート，感想文などの作成した文章）<br>・定期考査 | ・記述の確認（ノート，ワークシート）<br>・定期考査 | ・記述の確認（ノート，ワークシート）<br>・定期考査 |
| 上記に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | | |

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 一学期 | 評論(Ⅰ) | 教材：<br>「虚構のリアリズム」 | ○ | | | ○ | ○ | a：現実を「表象」するという人間の営為について理解を深め、それに対する自分の意見をもつ。<br><br>d：文章の論理構造に着目して評論文を読み解くことができる。<br><br>e：読むことに必要な文章の組立てや、語句の意味・用法について理解している。 | a:行動の観察、記述の確認(ワークシート)<br><br>d:記述の分析(ノート)、定期考査<br><br>e:定期考査 |
| | 小説(Ⅰ) | 教材：<br>「アルプスの少女」 | ○ | | | ○ | ○ | a：文章中の寓意や比喩を的確に読み取り、作品の主題について理解を深めようとしている。<br><br>d：文章中の寓意や比喩を的確に読み取り、作品の主題について理解を深めることができる。<br><br>e：比喩法や象徴的手法などの表現方法を理解している。 | a:行動の観察、記述の確認(ワークシート)<br><br>d:記述の分析(ノート、ワークシート)、定期考査<br><br>e:定期考査 |
| | 評論(Ⅱ) | 教材：<br>「欲望と資本主義」 | ○ | | | ○ | ○ | a：現代社会の問題点を考えながら文章を読もうとしている。<br><br>d：筆者の主張を的確に読み取り、具体的事例を想起することができる。<br><br>e：論理の構築や展開、構成を正しくつかんでいる。 | a:行動の観察<br><br>d:記述の分析(ノート)、定期考査<br><br>e:定期考査 |
| | 言語活動 | 教材：<br>「相互に評価して小論文の構成を考えよう」 | ○ | ○ | | | ○ | a：小論文の構成メモを評価し合い、人間や社会について考えを深めようとしている。<br><br>b：構成メモを互いに評価し、適切なアドバイスができる。<br><br>e：読み手に応じた文体や語句、適切な表現を理解している。 | a:行動の観察<br><br>b:発言や行動の観察(フループワークなど)<br><br>e:記述の分析(小論文) |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 二学期 | 評論(Ⅲ) | 教材：<br>「巫女の視点に立つこと」 | ○ | | | ○ | ○ | a：民話や社会学に関心を持ち、考えようとしている。<br><br>d：文章の構成や引用から、筆者の主張を的確に読み取ることができる。<br><br>e：指示語や接続表現を踏まえて、論理の展開や構成を正しくつかんでいる 。 | a: 行動の観察<br><br>d:記述の分析(ノート)、定期考査<br><br>e:定期考査 |
| | 小説(Ⅱ) | 教材：<br>「舞姫」 | ○ | | | ○ | ○ | a：想像力を働かせながら情景や心情を読もうとしている。<br><br>d：時代背景などを正確に理解し、人物の行動や思考・心情を捉えながら読んでいる。<br><br>e：語句に関して，文脈上の意味への理解を深めている。 | a: 行動の観察<br><br>d:記述の分析(ノート)、定期考査<br><br>e:定期考査 |
| | 言語活動 | 教材：<br>「表現を工夫して『ご当地CM』を作ろう」 | ○ | | ○ | | ○ | a：画像やメディアによる表現の工夫を理解しようとしている。<br><br>c：言葉や写真などを工夫して組み合わせ、効果的に表現することができる。<br><br>e：対象や目的に対して、PRの効果的な工夫を理解している。 | a:行動の観察<br><br>c:記述の分析(作品)<br><br>e:記述の分析(作品) |
| 三学期 | 詩 | 教材：<br>「小景異情」 | ○ | | | ○ | ○ | a：文語自由詩のリズムや語感を味わおうとする。<br><br>d：詩の背景を理解しながら、作者の思いを読み取ることができる。<br><br>e：詩の形式や構成、技法について理解している。 | a: 行動の観察(音読など)<br><br>d:記述の分析(ノート)、定期考査<br><br>e:定期考査 |

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 評論(Ⅳ) | 教材：<br>「〈私〉はどこへ行く？」 | ○ | | | ○ | ○ | a：今日のデジタル社会について、自身の考えを持つ。<br><br>d：文章の構成や展開を確かめながら、デジタル・テクノロジーの発達による「私」の捉え方の変化を読み取ることができる。<br><br>e: 固有名詞や語句の意味を理解している。 | a:行動の観察、記述の確認(ワークシート)<br><br>d:記述の分析(ワークシート)、定期考査<br><br>e:定期考査 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。